



○ 草の根パートナー型

平成24年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	東ティモール
2. 事業名	農村女性による経済活動支援
3. 事業の背景と必要性	過去10年間の間に東ティモールは目覚ましい経済成長をとげたが、都市と農村の格差は大きい。農村の大部分は今も自給的な農業を中心としており、雇用の機会はすくない。とくに女性の地位は低く、家事育児のほかに自給農業を担いながら、家庭や地域における発言権は制約されている。
4. プロジェクト目標	農村女性グループによる地域資源を活用した生産活動が発展し、女性たちの収入向上がもたらされる。
5. 対象地域	アイナロ県マウベシ郡、コバリマ県スアイ郡、アイレウ県レメシウ郡、エルメラ県エルメラ郡、ポボナロ県マリアナ郡、リキサ県マウバラ郡、パウカウ県パウカウ郡
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	農村女性300名
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 5つ以上の農漁村地域で女性生産グループが当事業に参加し、各グループが事業体として組織的に運営されている。 各グループの地域資源を生かした特産品が選定され、特産品生産が軌道にのる。 グループ間の協力・提携が進む。 各グループのマーケティング活動が促進される。 農村女性事業推進事務局が形成される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 事業対象グループを選定し、グループごとの事業目標、生産計画を決め、リーダーを選出する。 市場調査に基づいて、各グループの特産品を決め、生産を軌道に乗せる。 女性たちの展示会への参加・出店を促して、遠隔地市場への製品の輸送体制の確立を支援する。 グループ間の交流を促し、グループ間での販売および原料の入手、共通課題解決における協力を促進する。 ネットワークの推進事務局を形成する。
8. 実施期間	2013年10月～2018年9月（5年）
9. 事業費概算額	88,500千円
10. 事業の実施体制	パレシック東ティモール事務所日本人プロジェクトマネージャーおよび食品加工担当職員を配置し、東ティモール人の現地業務補助員5名とともに当提案事業を実施する。また東京事務所はJICA地球ひろばのアドバイスを得ながら、定期的に現地を視察し、評価・方針確定を行うとともに、フェアトレード市場の拡大、広報を実施する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人パレシック
2. 活動内容	東ティモール、スリランカ、マレーシア、日本の津波被災地などで農漁村住民の生計向上プログラムを実施、併せてその製品のフェアトレードも行っている。